

地域の特色を生かしたエネルギー政策の推進を求める意見書

本年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの尊い人命が奪われただけでなく、絶対安全と言われていた原子力発電所の事故をもたらし、東京電力福島第一原子力発電所の事故はいまだ収束のめどが立っていません。

今回の原子力発電所の事故は、国民が電力及びエネルギーに対する価値観を見直すきっかけとなったことから、原子力発電に依存してきた従来のエネルギー政策を転換し、限りある資源を可能な限り将来に引き継ぐために、新たなエネルギーの導入・促進が求められています。

よって、北海道におかれましては、北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例に基づき、地域の特色を生かしたエネルギー政策を更に推進するよう強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成23年12月20日

北海道江別市議会

提出先
北海道知事